

機織り文化を受け継ぐ

「織姫会」  
おりひめかい

伊南地域の機織り文化を後世に残していきたい。地域が抱く思いに伝えるため、「機織り後継者養成講座」が開催されたのは、今から10年ほど前にさかのぼります。当時すでに機織りの知識や技術を有する方は少なく、講師を探すだけでも大変な苦労があったようです。

「織姫会」を築きたい。「自分だけの麻反物を作りたい」と、それぞれが内に秘めた思いを共有するようになり、思いの共有が実を結び、「織姫会」は結成されます。現在は10人ほどのメンバーで活動されており、機織りを通じて、さまざまな取り組みをされています。

機織り文化が受け継がれる  
「奇跡」がそこにあった

講師を務めていただいたのは、馬場チカトさん（小塩）。伊南地域で最後となる機織り従事者のお一人とされる方です。数十年も織り機に触れていなかったにもかかわらず、記憶と経験をたどりながら、丁寧に反物の織り方を教えてくれました。講座を通じて多くのことを学んだ参加者は、いつしか「もつと機織り



織姫会の活動拠点となる「機織り伝承館」



伝承館の屋内には、4台の織り機が設置されています



「機織り伝承館」に設置されている4台の織り機や専用の道具は、地域の方々から提供していただいたもので、どれをとっても大変貴重なものです。

地域の方々の思いを大切にしながら、機織り文化は次の世代へ受け継がれていきます。

機織り文化は、縄文時代に始まったとされています。女性たちの手で現在まで脈々と受け継がれてきた歴史が今も息づいている。これを歴史ロマンというのでしょうか…。



「織姫会」の皆さん



「織姫会」の皆さんは、これまで自分たちのペースで活動を続けてきました。伊南地域の文化祭で作品を展示したり、ワークショップを通じて交流の機会を設けるなど、楽しみながら機織りに取り組まれています。取材当日は、草木染めに取り組まれていました。染料には、藍・バラ・赤シソ・黒豆など、たくさんの素材を活用。織物に使用する麻糸や各自持ち寄った生地などを染め上げ、今後製作する作品のイメージを思い浮かべている様子でした。

「織姫会」の活動や「機織り伝承館」について、興味・関心のある方は、お問い合わせください。

【問合せ】  
教育委員会分室 生涯学習係  
0241(76)7718

(写真⑥) 3ページでもご紹介した奥会津博物館伊南館には、「織姫会」の皆さんが時間をかけて作り上げた「袴（かみしも）」が展示されています。他にも素晴らしい作品が展示されていますので、ぜひご覧ください。

